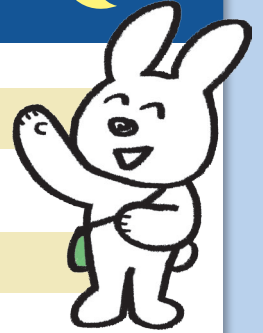


中学書写

点画の連続と変化を学習する「栄光」の展開例です！

ICTを活用した授業展開例



1 毛筆で「栄光」を、まずは楷書で書いてみよう。

この時間で学習する行書と比較するために、まずは楷書で「栄光」を書きます。

2 「比較ツール」を使って、教材文字と比べてみよう。

自分が楷書で書いた「栄光」と、教科書の行書で書かれた「栄光」とを比べて、点画が連続したり、形が変化したりしているのはどこか考えます。



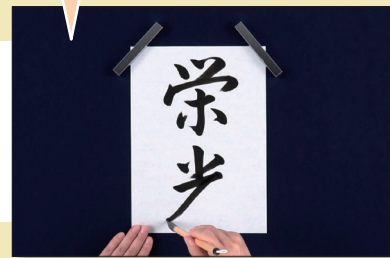
「比較ツール」には教材文字が画像として収録されています。1を撮影してデバイスに取り込み、2と比較できます。ペンツールで自分の課題を書き込んでみましょう。

動画は教室のディスプレイなどでリピート再生しておくといいです。生徒が端末で必要なときに視聴できると、個別最適な学びにつながります。

3 気づいたことを伝え合おう。

近くの人と気づいたことを伝え合いましょう。

2を電子黒板に映したり、学習支援ソフトウェアを活用したりすると効果的です。



4 本時の目標を確かめよう。

目標：点画の連続と変化を理解して書こう。

5 課題に気をつけて練習しよう。

動画や練習用紙を活用して、自分の課題に合った練習をします。



生徒の課題に合った練習用紙を作成できます。

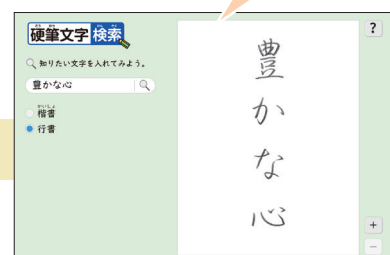
6 目標に気をつけて書けたか、振り返ろう。

- 「比較ツール」で試し書きとまとめ書きを比べることで、授業を通してどのくらい課題が達成できたか確認します。
- 試し書きとまとめ書きを画像として保存することで、成果を蓄積できます。

「硬筆文字検索」では、教科書掲載の硬筆文字が検索できます。

7 学んだことを他の文字に生かそう。

学習した文字と同じような部分をもつ字を探したり、他の教材文字を書いたりすることで応用を図ります。



1

「学習の進め方」解説動画で学び方を知る

試し書きから日常に生かすまでの学習の流れを、キャラクターのナビゲーションで楽しく理解できます。

学習の進め方

- 行書の授業例 -



頼れる！ 5つの味方



行書の書き方が
身につき、日常に
生かせるよ。

生徒の気づきや自己評価を
デジタルポートフォリオとして記録し、
次の学習へつなげます。

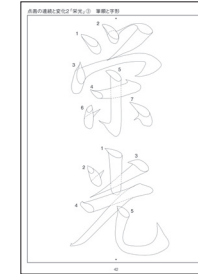
「主体的な学び」
「個別最適な学び」
を支援



3

課題に合った 「練習用紙」を作成

中心線や筆脈線など、生徒の課題に合わせて
練習用紙をカスタマイズできます。



4

目的に合った 「動画」を存分に活用

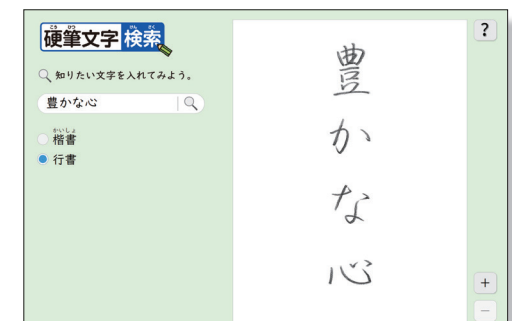
教科書の二次元コードと連動した「まなびリンク」には、教科書掲載の全毛筆教材の運筆動画や、硬筆の運筆動画などを収録。デジタル教材には、各教材のポイント解説動画や、穂先の動きを重点的に確かめられる動画、用具の使い方を示した動画などを豊富に収録。それぞれの用途に合わせて活用できます。



5

活用力を高める 「硬筆文字検索」

小・中学校で学習する漢字（常用漢字）・平仮名・片仮名の硬筆文字を自由に検索することができます。
楷書／行書の切り替えが可能です。
書写の授業だけでなく、日常生活のさまざまな場面で活用できるコンテンツです。



2

「比較ツール」で 課題発見！

教科書の文字と試し書きの比較や、
試し書きとまとめ書きの比較ができます。
ペン機能での書き込みや、保存・印刷も可能です。



「カメラ機能」を活用しよう！

書写学習では、自分が書いた文字や書く過程をメタ認知することが大切です。カメラ機能を大いに活用しましょう。写真や動画を撮影し、振り返りに活用したり、相互評価を行ったりすることもできます。二次元コードの読み取りにもカメラ機能は活躍します。



※デジタル教科書・デジタル教材は開発中のため、内容は変更となることがあります。

「中学書写」におけるICT活用のすすめ

行書学習で生きるICT

GIGAスクール構想からおよそ4年が経ちました。これからは“まずICTを使ってみる”ではなく、“教育効果を考え、ICTを教具として活用する”のが教師の資質として必要なのではないのでしょうか。そして、書写学習とICTの親和性は非常に高いのではないかと思います。

中学校国語科書写は、社会生活におけるコミュニケーションの一つに、手書き——とりわけ行書について、その書体の特性を生かして位置づけていくことを目指しています。行書の技能としては、二つの「応用」を意識して授業を行う必要があるでしょう。一つは教材で学習したことを他の文字へ「応用」すること。もう一つは書写で学習したことを他の教科や日常生活での手書きの場面に「応用」することです。教育出版のデジタルコンテンツは、その二つの「応用」において役に立つように考えられています。

効果的に学ぶためのICT

書写だからすべてアナログがいいというわけではありません。むしろ、書写はどう教えたらいいいかわからない、自分は字が上手ではないから書写は教えられない、といった従来よく聞かれた悩みがICTの活用により解決する、という場面もあるのではないかと思います。

教育出版のデジタルコンテンツは、ICTの活用を押しついたり、ICT活用の理由のためにつくられていたりというものではなく、先生がたに「この学習の、この場面ですらより書写の学びが効果的になるな」と思っていただけのようなコンテンツという視点で開発されています。すでにさまざまなコンテンツ、アプリなどを活用されている先生も多数いらっしゃるかと思います。そこに教育出版のデジタルコンテンツを組み合わせ、より個別最適な学び、より深い学びへと結びつけていただければと思います。

東京学芸大学 芸術・スポーツ科学系

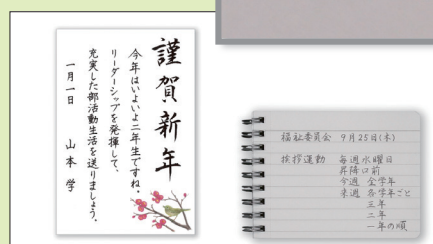
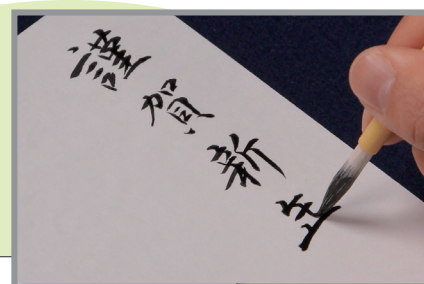
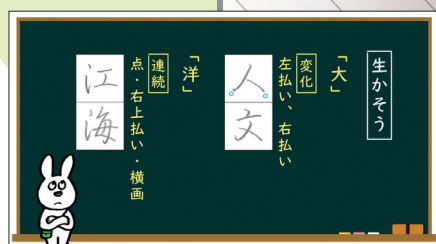
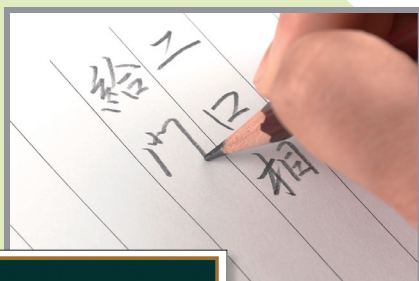
くさ つ ゆうすけ
准教授 草津 祐介先生



「行書学習のはじめに」解説動画

「なぜ行書を学習するの?」「行書ってなんだろう?」という疑問に応える解説動画です。

普段、ノートを書くときに生かせる運筆動画も収録しています。



書写で学習したことを日常に生かす例を紹介しています。

【中学校国語科（書写）内容解説資料】 この資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」にのっとり、配布を許可されているものです。

発行：教育出版株式会社 〒135-0063 東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館 TEL 03-5579-6278 FAX 03-5579-6444